



# 仙台PR支援ツール作成事業

(財)仙台国際交流協会企画事業課事業推進係 須藤 伸子

## 仙台PR支援ツールで何をPRするのか

平成一七年度の先導的施策支援事業として、シティセールスを標榜する仙台市の方針を踏まえ、「仙台PR支援ツール」を作成することになりました。単なる観光案内ではなく、海外と日本人の距離がより近く、友好的になり、仙台市の魅力をPRするDVD作成を考えました。そこで、仙台市内で行われている市民の国際交流を記録として残すことにしたのですが、海外にもアピールできる仙台ならではの題材がないかと、最初の数カ月は素材探しで経過してしまいました。

## 「多言語防災マニュアル地震DVD」作成の経緯から

当協会が映像資料を作るのはこれで二作目ですが、一作目は昨年三月に完成した

「多言語防災マニュアル地震DVD」でした。地震のない国からやってきた外国籍市民に、来日後なるべく早い時点で防災知識を得てもらうため、多くの言語に翻訳し、具体的なイメージと危機感を持ってもらうよう、冊子ではなくDVD映像資料を作ったわけです。このマニュアルでは、二三分間の共通映像を二種類の言語に翻訳・録音しましたが、同じセリフでも言語によって長さはかなり異なります。それは言語の特徴というだけでなく、翻訳・録音を担当した各言語担当者の性格や作文力にも起因していました。

仙台PR支援ツールも事業開始当初は、多言語への翻訳を考えていたのですが、前年度の反省から同一映像資料の多言語化が難しいこと、そして、従来の都市紹介ビデオとは異なる個人的な作品を作りたいかつたことなどから、PR対象を一カ国に絞り、その国と仙台との関係に着目したDVDをつくることに事業内容を変更しました。

## 中国の文豪、魯迅と仙台のかかわり

仙台市では、二〇〇四年策定の仙台市シティセールス戦略プランのもと、成長産業や観光客などの交流人口の獲得に向け、経済成長が著しく、今後外国人旅行者の増加が見込まれる中国をターゲットにシティセールスを展開しています。二〇〇四年は、中国の文豪・魯迅が仙台医学専門学校（現東北大学医学部）に留学して一〇〇年目で、仙台では産学官の各セクターで、さまざまな記念行事が開催されました。その一つとして、東北大学の中国人留学生・日本人学生・仙台市民によって、魯迅と恩師・藤野先生や学友たちとの心の触れ合いを再現する劇が上演されました。中国では、「仙台」は魯迅留学の地、志を立てた地、として教科書にも掲載されており、知らない人はいないほどです。仙台を海外にPRする素材としてふさわしいこと、また、この一〇〇年前

のエピソードが、現代の留学生・日本人学生・市民の国際交流につながっているという理由から、今回の仙台PR支援ツールの題材として取り上げることになりました。

## 演劇からDVDへ―仙台PR支援ツール「鲁迅と仙台」とは

このDVDは、全体が五〇分間で、(1)演劇「仙台における鲁迅」(2)演劇出演者のインタビュー(3)中国人留学生による仙台紹介、の三部構成になっています。DVD作成に当たっては、学生・市民からなる委員会メンバーとの協議を重ねました。その結果、公演収録ではなく、DVD用に演技をして三台のカメラで撮影することになりました。撮影会場は、一〇〇年前に鲁迅が実際に学んだ東北大学階段教室をお借りしました。演劇すべてを収録することは難しかったため、公演内容のうち第一幕「初めての仙台」と第二幕「もめごと」を撮影したものを約三〇分に編集し、ナレーションと字幕を入れました(DVDには収録されていませんが、二〇〇六年三月には、鲁迅と学



↑東北大学階段教室での撮影

友・藤野先生との別れを描いた第三幕「惜別」が演じられました。演劇の中には、当時の世相を反映して、中国批判、軍国日本を象徴するセリフが登場しますが、鲁迅が文学の道へと進むきっかけとなった事件を再現するため、そのままの形で演技、収録しています。

今回の演劇は、鲁迅留学の一〇〇年後に、主役鲁迅を演じた中国人留学生、沈凱東さんが仙台に来たことから生まれました。まだ日本語もままならなかった沈凱東さんが、「仙台にいる中国人留学生として、この記念すべき年に何かやってみたい」と思い、それを学友に熱心に訴えたこと、そのことを新聞記事等で知った市民が協力を申し出たことが始まりでした。一〇〇年前のエピソードが現代の市民交流に結びついたわけですが、DVDの中では、出演者インタビューを収録し、委員会メンバーそれぞれの想いや事業の経緯を紹介しています。

## 中国人の視点からみた仙台の魅力

このDVDの目的は、「仙台」を海外に向けてPRすることですが、中国の人々にとって、仙台のどんな点が魅力的に映るのかは、私たち日本人の想像とは時として相反します。しかも中国は広い国ですから、南の海南省と北の黒龍江省とでは、人々の興味関心も違っているでしょう。仙台市

には、留学生だけでも一〇〇人以上の中国の方が住んでいるので、多様な地域出身の方に出演していただき、彼らを感じる仙台の魅力を紹介してもらいました。仙台地区中国学友会の協力を得て八人の出演者を募り、仙台のまち並み、自然、元氣なお年寄り、祭り、教育、名産品、古本屋、温泉、という各自の選んだテーマで、市内各所での撮影を行いました。

完成したDVDは、仙台に留学・居住する中国人の方々や、中国との交流を行う市民団体に配布し、彼らを通して、中国および日本国内に住む中国の個人や団体に手渡していく予定です。仙台をPRする最良の方法は、現在仙台に住んでいる中国人の方たちが、仙台での暮らしや日本人市民とのかわりに満足し、その思い出や経験を母国に持ち帰り、友人知人に伝えること。鲁迅が仙台に残した足跡と、現在仙台で行われている国際交流の様子を伝えていくことが、小さいけれど確実な一歩になればと願っています。そして、一人でも多くの中国、そして日本の方に、私たちのまち、仙台に来ていただきたいと思えます。



↑「鲁迅と仙台」DVD